

日本道路

小棹 ふみ子氏



社外取締役

【抱負】社外取締役の役割は、企業の全てのステークホルダーの付託に応え、企業価値の持続的な向上を達成するため、中立的、客観的な立場から見解を提供することである。グループ

シンクに陥らないことを担保することが必要であり、経営陣が経営戦略をスピード豊かに策定、実行することを支援し監督することが責務だ。ダイバーシティーマネジメントの観点からも、自分が培った経験からの視点や新しい切り口で忌憚（きたん）なく意見を述べ、より一層のガバナンス向上に貢献していきたい。

【寸描】明朗、闊達（かたつ）、労を惜しまない人柄で多くの信頼を集めてきた。かつての職場では「女性初の〇〇」を数多く歴任。経験に裏打ちされた判断力は、行政機関のトッ

プとして危機管理や人材育成などの組織運営で発揮された実績がある。一方で書道の達人であり、凜としたシャープな書体は多才な和に通じる一端をうかがわせる。会社経営においても幅広い課題の把握と分析力、審美眼が企業価値向上に向けて発揮される。

【信条】 温故知新

【略歴】 1973年国税庁入庁、78年東京理科大学理学部卒。2011年関東信越国税局行田税務署長、20年トール社外取締役（監査等委員）。23年6月から現職。群馬県出身、69歳。

